

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
04	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 患者及びその家族に接する機会が多い看護職の 専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、 認定看護師及び専門看護師の資格取得を促進する。 今後は、緩和ケアや摂食、嚥下障害看護の認定看 護師取得を目指し、平成23年度に受験予定であ る。 また、23年度は看護教員養成講習会が県内で開 催されるため、看護師教育とより連携するために参 加させる。</p>	<p>◆認定看護師 ・脳卒中リハビリテーション認定看護師の資格取得 1名 ・H24緩和ケア認定看護師の教育課程入学試験を 受験、入学決定1名。 ◆看護教員養成講習会 1名参加 (6月9日から3月8日まで) ◆その他の専門研修参加 ・認知症患者の看護 4名 ・家族ケア 3名 ・がん性疼痛緩和ケア 3名 ・災害看護 5名 ・呼吸ケア 4名 ・周産期医療と看護 1名 ・糖尿病看護 1名 ◆今後の予定 臨床指導者講習会参加と緩和ケア認定看護師資 格取得を目指す。</p> <p>認定看護師数 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排せケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	分野	H22	H23	皮膚排せケア	1名	1名	感染管理	1名	1名	脳卒中リハビリテーション		1名	III		<p>専門看護師の資格取得を促進するという中 期計画を達成するための取組みを検討された い。</p>
分野	H22	H23															
皮膚排せケア	1名	1名															
感染管理	1名	1名															
脳卒中リハビリテーション		1名															

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	論 点	検 証 (案)
		合計	2名	3名		
06	<p>(6) EBMの推進 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス(入院患者に対する治療の計画を示した日程表)積極的な活用に取り組むことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療(EBM: Evidence Based Medicine)を提供する。</p> <p>また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。</p>	<p>高齢の入院患者の割合が高いことなど、クリニカルパスの作成・適用が難しい現状においても、パスの活用に取り組んだ。</p> <p>◆整形外科領域 完成したパス：9件 現在は適用されていないが、今後活用の取組を行っていく。</p> <p>◆産婦人科領域 パス作成数：13件 ほぼ100%適用 H24年1月の産婦人科再開により新しい産婦人科医師のもと診療が開始され、パス内容の確認、変更を行い改善を図った。</p> <p>◆新生児領域 パス作成数：外来1件、入院10件 ほぼ100%適用</p> <p>また、電子カルテ運用においては、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。</p>	III	<p>評価の検討</p> <p>「III」→「II」</p> <p>クリニカルパスの使用数が把握されていないなど、積極的な取組みがみられない。 また、昨年度評価の意見として付された内容について対応が不十分である。</p> <p>「III」のまま 年度計画通り EBMの推進がおおむね行われているため、計画通りとする。</p>	<p>「II」</p> <p>クリニカルパスについて、患者の満足度を把握する方法を検討すること。また、クリニカルパスの作成についてさらに努力するとともに、クリニカルインディケーターの導入・公表にも取り組む必要がある。</p>	
18	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 飛騨地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリニカルパスの整備に取り組む。</p>	<p>平成22年度に「東濃西部脳卒中地域連携パス」に参画し、施設基準を取得・運用してきた。平成24年度から中津川市民病院が新たに加わることに伴い、名称も「東濃地域脳卒中地域連携パス」と改め運用していくこととなったため、施設基準の変更手続き等の調整・準備を行った。</p> <p>また、平成23年4月から「飛騨地域がん地域連携クリニカルパス」とも連携し、飛騨地域におけるがん診療の一貫した運用等に協力した。平成24年4月の診療報酬改定で新設される「緊急患者搬送地域連携受入(紹介)加算」の取得にあたり、他の医療機関と連携するための調整を行った。</p>	III		<p>今後、地域連携クリニカルパスの普及にも積極的に取り組まれることを期待する。</p>	
24	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研</p>	<p>下呂温泉病院年報第36号を発行し、院内での活用による医療の質の向上を図るとともに関係機関へ配布し、情報の提供を行った。</p>	III	<p>評価の検討</p>		

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
	修、臨床研究等において活用することで、医療の質の向上を図る。特に、 <u>地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図る。</u> また、病院年報を年1回発行し、その研究成果を岐阜県及び圏域市町村の関係機関に提供する。	【配布先】 ・県内、県外医療機関等 延 52 機関 ・岐阜県機関、飛騨圏域 3市1村、中津川市、白川町 延 17 機関 合計 69 機関		「Ⅲ」→「Ⅱ」 年度計画では、集積したエビデンスを地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図るとあるが具体的な取組みがない。 「Ⅲ」のまま 年度計画通り病院年報の発行が行われているため、計画通りとする。	「Ⅱ」 年度計画では、集積したエビデンスを地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図るとあるが具体的な取組みがない。						
27	(1) 地域医療を目指す医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターからの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。 また、平成23年度においては、初期研修医1名を受入れる。	岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターの協力施設として地域医療研修を行う臨床研修医の受け入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として平成22年度に引き続き、平成23年度も1名の臨床研修医を受け入れた。 【研修の状況】 ・1年次研修医 1名 実施した研修科：内科6ヶ月、救急3ヶ月、外科2ヶ月、整形外科1ヶ月 ・2年次研修医 1名 実施した研修科：産婦人科1ヶ月、地域医療1ヶ月（東白川村診療所、小坂診療所）、精神科1ヶ月（南ひだせせらぎ病院）、内科9ヶ月 初期臨床研修医数 (各年3.31時点) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	医師	1名	2名	Ⅲ		中期計画に記載されている独自の臨床研修プログラムの開発を検討されたい。
	H22	H23									
医師	1名	2名									
39	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。 また、 <u>定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与</u>	毎月第4木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。管理会議後には職員と管理者（経営者）との意見交換会を開催し、業務・経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い組織づくりに努めた。 また、月次決算状況を理事長に提出する時には月	Ⅲ	評価の検討 「Ⅲ」→「Ⅱ」 定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する、との記述が年度計画にあるが、未整備で	「Ⅱ」 年度計画に記載されている、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する目標が達成さ						

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。 さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用できる体制づくりに取り組む。	次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制づくりに努めた。		あるため早期に整備されたい。 【Ⅲ】のまま 経営効率の高い業務執行に向けた取組みが実施されているため、計画通りとする。	れていない。																								
41	(2) 効果的な体制による医療の提供 職種の特長性に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。また、各医療現場のニーズにあった適正な人材確保に努める。	<p>【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</p> <p>◆当院を定年退職した看護師を非常勤看護師として2名、4時間の短時間パートを1名採用し、経験豊富な人材の確保を図った。</p> <p>◆医師事務作業補助者として、22年度の非常勤職員3名採用に引き続き23年度は新たに2名を採用した。また専門研修への参加により養成を行い、医師事務の負担軽減を更に推進した。(その結果、施設基準「医師事務作業補助加算」について24年5月に100:1から75:1へランクアップ)</p> <p>医師事務作業補助者数 (各年3.31)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	医師クラーク	3名	5名	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>【Ⅲ】→【Ⅳ】</p> <p>医師事務作業補助者を新たに2名採用し、「医師事務作業補助加算」を100:1から75:1にランクアップさせたことは評価できる。</p> <p>【Ⅲ】のまま 計画どおり多様な勤務形態の非常勤職員の活用が実施されたもので、計画を上回る実績ではない。</p>	<p>【Ⅳ】</p> <p>計画どおり多様な勤務形態の非常勤職員の活用が実施された結果、「医師事務作業補助加算」を100:1から75:1にランクアップさせたことは評価できる。</p>																		
	H22	H23																											
医師クラーク	3名	5名																											
46	(1) 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病床利用率については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き行う。 医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の点から開業医等の受託促進に努める。	<p>病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。</p> <p>◆病床利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-3</td> <td>59.7%</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>A-5</td> <td>54.3%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td>61.3%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>B-3</td> <td>69.5%</td> <td>64.8%</td> </tr> <tr> <td>B-4</td> <td>64.5%</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>B-5</td> <td>59.2%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>53.9%</td> <td>51.4%</td> </tr> </tbody> </table>	病棟	H22	H23	A-3	59.7%	58.5%	A-5	54.3%	33.0%	B-2	61.3%	64.9%	B-3	69.5%	64.8%	B-4	64.5%	62.8%	B-5	59.2%	61.8%	全体	53.9%	51.4%	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>【Ⅲ】→【Ⅱ】</p> <p>平均在院日数が長く、病床利用率も低いため、対応が必要と考えられる。</p> <p>【Ⅲ】のまま 年度計画通り病床管理が行われているため、計画通りとする。</p>	<p>【Ⅱ】</p> <p>新病棟の整備に向け、病床利用率の向上策及び平均在院日数の目標設定について、取り組むべきであると思われる。</p>
病棟	H22	H23																											
A-3	59.7%	58.5%																											
A-5	54.3%	33.0%																											
B-2	61.3%	64.9%																											
B-3	69.5%	64.8%																											
B-4	64.5%	62.8%																											
B-5	59.2%	61.8%																											
全体	53.9%	51.4%																											

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																				
		<p>◆その他の指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>63,884 人</td> <td>61,168 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>175 人</td> <td>167 人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>17.7 日</td> <td>18.3 日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,456,820 千円</td> <td>2,307,847 千円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,458 円</td> <td>37,730 円</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>86,477 人</td> <td>82,152 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>356 人</td> <td>337 人</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>890,907 千円</td> <td>890,834 千円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>10,302 円</td> <td>10,844 円</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>12,558 千円</td> <td>13,555 千円</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>1,867 千円</td> <td>1,793 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p>	項 目	H 2 2	H 2 3	入院延患者数	63,884 人	61,168 人	1日平均入院患者数	175 人	167 人	平均在院日数	17.7 日	18.3 日	入院収益	2,456,820 千円	2,307,847 千円	入院診療単価	38,458 円	37,730 円	外来延患者数	86,477 人	82,152 人	1日平均外来患者数	356 人	337 人	外来収益	890,907 千円	890,834 千円	外来診療単価	10,302 円	10,844 円	室料差額収益	12,558 千円	13,555 千円	受託検査収益	1,867 千円	1,793 千円			
項 目	H 2 2	H 2 3																																							
入院延患者数	63,884 人	61,168 人																																							
1日平均入院患者数	175 人	167 人																																							
平均在院日数	17.7 日	18.3 日																																							
入院収益	2,456,820 千円	2,307,847 千円																																							
入院診療単価	38,458 円	37,730 円																																							
外来延患者数	86,477 人	82,152 人																																							
1日平均外来患者数	356 人	337 人																																							
外来収益	890,907 千円	890,834 千円																																							
外来診療単価	10,302 円	10,844 円																																							
室料差額収益	12,558 千円	13,555 千円																																							
受託検査収益	1,867 千円	1,793 千円																																							
48	<p>(3) 施設基準の取得 診療報酬制度については、入院基本料の診療報酬最高額である7対1看護体制を維持するとともに、非常勤医師の常勤化や経験年数の長い医師の確保等により冠動脈CT撮影加算やハイリスク分娩管理加算等の新たな施設基準の取得を目指す。</p>	<p>入院基本料7対1看護体制の維持とともに平成23年度に次の施設基準を取得 ◆慢性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆急性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆外来化学療法加算1 H23.8.1取得 ◆がん治療連携指導料 H23.4.1取得 ◆HPV核酸同定検査 H24.3.1取得</p>	III		<p>すでに取得済の施設基準を年度計画に盛り込んでおり、適切な年度計画策定に努められたい。</p>																																				
52	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を</p>	<p>【経常収支比率】 年度計画の設定比率93.3%に対して決算では93.5%でプラス0.2ポイントとなり年度計画を若干上回った。</p>	II		<p>経常収支比率が低下しており、中期計画期間中</p>																																				

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。	<p>【職員給与費対医業収益比率】</p> <p>年度計画における比率71.1%に対し、決算では74.4%で3.3ポイント増加した。H23年度は医師確保のため人件費コストが大きくなっているものの、見合う収益が得られていないことから、比率が年度計画及びH22年度決算よりも高くなっている。</p> <p>来期以降も経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>95.0%</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>71.4%</td> <td>74.4%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	経常収支	95.0%	93.5%	職員給与費	71.4%	74.4%			の100%達成に向けて努力されたい。また、新病棟建設後の経営方針・経営計画を速やかに策定し、赤字改善に向けて積極的な取組みをすべきである。															
	H22	H23																											
経常収支	95.0%	93.5%																											
職員給与費	71.4%	74.4%																											
61	法人が岐阜県に対し負担する <u>債務の償還を確実に</u> 行っていく。	<p>岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。</p> <p>◆当期の償還状況 移行前地方債償還債務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>1,162,245,143 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>178,968,753 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>983,276,390 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>38,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>36,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>7,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>66,400,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆年度別の償還状況 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		金額	期首残高	1,162,245,143 円	当期償還額	178,968,753 円	期末残高	983,276,390 円		金額	期首残高	38,000,000 円	当期借入額	36,000,000 円	当期償還額	7,600,000 円	期末残高	66,400,000 円	年度	計画	実績				III	<p>評価の検討</p> <p>「III」→「IV」</p> <p>計画通り県に対し負担する債務の償還を確実に実施したことは評価できる。</p> <p>「III」のまま</p> <p>計画通り県に対し負担する債務の償還を確実に実施したことは評価できるが、年度計画を上回るものとはいえない。</p>	<p>「III」</p> <p>業務実績としては順調であり、法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施したが、それ以上の実績は記載されていないため、年度計画どおりであると判断する。</p>
	金額																												
期首残高	1,162,245,143 円																												
当期償還額	178,968,753 円																												
期末残高	983,276,390 円																												
	金額																												
期首残高	38,000,000 円																												
当期借入額	36,000,000 円																												
当期償還額	7,600,000 円																												
期末残高	66,400,000 円																												
年度	計画	実績																											

項目 No.	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点
		22 年	4 3 5	4 3 5		
		23 年	1 7 9	1 7 9		
		24 年	1 1 2			
		25 年	9 7			
		26 年	1 4 6			
		中期計画期間計	9 6 9	6 1 4		
		長期借入金 (単位：百万円)				
		年度	計画	実績		
		22 年	0	0		
		23 年	0	8		
		24 年	0			
		25 年	0			
		26 年	0			
		中期計画期間計	0	8		